

林業ミニ情報 No.167

令和4年11月

- 1 コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクトが開催される 1
(土浦林業指導所 高信)
- 2 「クビアカツヤカミキリ」対策講習会が開催される 2
(筑西林業指導所 小川原)

タイトル	コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクトが開催される
年月日	令和4年10月15日（土）
場所	石岡市内（つくばね森林組合）
内容	<p>令和4年10月15日に、「コカ・コーラボトラーズジャパン（株）」が主催する環境プログラム「コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクト in 茨城いしおか」が石岡市内で開催されました。</p> <p>この環境プログラムは、次世代を担う子供たちや同社茨城工場従業員へ、コカ・コーラが利用する水資源の保護活動を浸透させるため、工場の水資源域である地域の方々と森林保護活動を行い、水資源保護の重要性について理解を深めることを目的としており、市内の小学生及び保護者、コカ・コーラ社員の43名の方々が参加しました。</p> <p>当日は、当指導所職員とつくばね森林組合職員が指導者となり、「森林の働き等に関する講義」、「間伐体験」、「木工工作（本箱・お箸作り）」、「シイタケもぎ採り体験」を行い、森林・林業を「学び」、「育てる」、「使う」、「食す」をまるごと体験できる充実した1日となりました。</p> <p>参加者からは、「普段は経験できない間伐作業や、木から生えているシイタケを採ることができ、貴重な体験をすることができた」、「森林・林業に関する勉強をさらにしてみたい」など、様々な感想を頂くことができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>集合写真</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>シイタケもぎ採り体験</p> </div> </div>
普及成果等	<p>地元の子供たちが、身近にある森林に触れあう体験を通して、木材やきのこ等の森の恵みに感動し、とても興味を抱いた様子でした。</p> <p>今回の体験がきっかけとなり、今後、森林・林業により関心を持ってもらえることを期待しています。</p> <p>当指導所としては、参加者にとってさらに心に残る体験となるよう、このようなイベントでの普及活動を一層進めていきたいと考えています。</p>

タイトル	「クビアカツヤカミキリ」対策講習会が開催される
年月日	令和4年7月15日（金）
場所	五霞町内
内容	<p>令和4年7月15日に、特定外来生物のクビアカツヤカミキリ（略称：クビアカ）対策講習会が、県環境政策課の主催により五霞町内で開催され、五霞町職員、県関係機関職員が参加しました。</p> <p>この講習会は、近年、バラ科の樹木であるサクラやモモ等から、クビアカの成虫やフラスが確認されるなど、被害が蔓延しつつあることから、その対策として開催されたものです。</p> <p>当日は、はじめに、県環境政策課の職員から、模型を使ったクビアカの形態、成虫の活動時期（5月末～8月上旬）、在来のカミキリに比べて非常に繁殖力が強い（数百～数千個程度の卵を産む）など、クビアカの特徴・特性等について説明がありました。</p> <p>その後、日本樹木医会茨城県支部の古谷支部長から、被害木に対する処理方法の講習があり、フラスが確認された被害木への殺虫処理及び成虫の拡散防止と新たな産卵の防止を目的としたネットの被覆を行いました。簡易的な殺虫処理方法として、フラスの排出孔からスプレー式になっている農薬の注入処理を行い、ネットは樹木下部から羽化した成虫を閉じ込めるため、網を胸高から地際にかけて巻くなど、直ちに対策できる方法を学ぶことができました。</p> <p>近年、カシノナガキクイムシやクビアカ等による森林被害の拡大が懸念されていることから、参加者にとって大変有意義な講習会になったと考えられます。</p>
普及成果等	<p>クビアカ等の害虫による樹木の被害を防ぐためには、市町村や国、県の関係機関等との協力・連携が重要だと考えます。当指導所としては、引き続き、情報共有等を密に行い、被害防止に努めてまいります。</p>



樹幹から出てきたクビアカの幼虫



ネット被覆の状況